

正しい生活のリズムを取り戻そう！ ～強い意志と周囲の応援で～

冬休みを終えた54名の子どもたちの笑顔と元気が古道の学舎に戻ってきました。学校再開から1年9ヶ月、子どもたちが伸び伸びと学校生活を送ることができていることを本当にうれしく思います。これも偏に、保護者や地域の皆様による子どもたちへの温かい見守りと力強いご支援のお陰でありますことに改めて深く感謝申し上げます。

さて、学校でしっかりと勉強したり、友だちと仲良く遊んだりできるためには、正しい生活習慣の確立が欠かせません。毎日の気持ちのよい朝のあいさつ、明るい笑顔、歯切れのよい受け答えなどが望ましい人間関係を築き、意欲的に学ぶ基盤になります。冬休み明け初日（1月8日）の朝、6年生が寒い中をしっかりとあいさつ運動を行っていました。頼もしいリーダーです。子どもたちが強い意志をもって生活リズムを取り戻せるようご家族の皆様の叱咤激励をよろしく願います。特に、1月中旬からは、学力テストも始まります。これまで頑張ってきたことを無駄にしないためにも、ご支援、ご協力をよろしく願います。

なお、子どもたちへは、次のようなことを話しましたので紹介します。

〔冬休み明けの全校集会〕

明けまして、おめでと〜うございます。

平成二十八年、西暦二〇一六年がスタートしました。みなさんと新しい年を迎え、また一緒に勉強できることをとてもうれしく思います。

さて、今年には、十二支でいうと「さる年」ですね。「さる年」というとお猿さんを思い浮かべる人も多いと思いますが、「さる年」の「さる」は、「申」と書き、「しん」と読みます。この「申」は、「伸ばす」という意味があります。また、十二支の九番目で、一年の九月ごろにあたり「草や木が十分に伸びきって、果物などの実が熟し、よい香りと味がそなわってくる時期、野菜やお米も獲れるとてもよい時期である」と言われます。

みなさんも、これまで頑張ってきたことに、さらに努力を積み重ねて、よく考える頭と健康な体、やさしくて、最後まで頑張る強い心をしっかりと実らせてください。

特に、一月から三月は、授業をする日が四十九日しかありません。六年生は中学校に進学するために、ほかの学年はそれぞれ上の学年に進級するために、一年間のまとめをする大切な時期です。学級や自分のめあてをみながらしっかりと決めて、この「申（さる）年」にふさわしく、一人一人がどんどん伸びていくことを願っています。

先生たちは、どんなことがあっても、みなさんを守り、みなさんの頑張りを全力で、厳しく、やさしく応援していくことを約束して、お話を終わります。

申

ジョージア国へ届けることができました！

心を込めてつくった千羽鶴と応援メッセージです



子どもたちは、「大変な洪水被害を受けたジョージア国のみなさんのために何かできないか」と考え、「①ジョージア支援の募金をしよう」、「②千羽鶴をつくって届けよう」、「③応援メッセージを寄せ書きして届けよう」ということに取り組んできたところですが、この度、ジョージア大使館並びに公益社団法人 3.11震災孤児遺児文化・スポーツ支援機構の皆様のご協力をいただき、「ジョージア冬合宿」に参加される皆様を通じて「千羽鶴」と「応援メッセージ」をお届けすることができました。なお、募金につきましては、ジョージア大使館を通じてお届けいたします。皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

学校といたしましても、『国を超えて人のために役立とうという子どもたちの思いや願いを共に考えていくことで、グローバル社会の中で生きていく力をつけるとともに、社会奉仕や思いやりなどの豊かな心の成長を育むため』教職員一丸となって一層の教育の充実に努めてまいります。

入賞おめでとう！

◇ 古道小学校 第2回漢字オリンピック『金賞（第1位）』

- 1年 渡辺 里歩
- 2年 武田 佳奈
- 3年 高橋 河和、富樫 一花、吉田 脩平
- 4年 吉田 隆人
- 5年 宗像 愛望、宗像 良人、吉田 実里
- 6年 遠藤 慧人、菅野 翔、松本 亜海、宗像 七海、吉田 美桜、渡辺 海叶

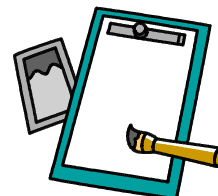


◇ 第65回社会を明るくする運動作文コンテスト（県表彰）

優秀賞 5年 吉田 千夏

◇ 福島県神社庁主催「第23回少年・少女書道展」

- 金賞 6年 猪瀬 啓仁
- 銀賞 3年 遠藤 愛果 6年 松本 亜海
- 銅賞 3年 高橋 河和 3年 富樫 一花 6年 吉田 美桜
- 佳作 3年 菅野 祐希 5年 高橋 公太 6年 古河 聖大、渡辺 海叶



～「表彰式」に出席してきました～

◇ ふくしま発のキュウリピズ愛情込めて キュウリ栽培大作戦

12月2日（火）福島市「J A福島ビル」
郡山大新青果社長賞 古道小学校
「キュウリ栽培大作戦in古道（5年生）」
※収穫したきゅうりで、「キュウリジャム」
などをつくりました。



古道小↑
表彰式後の記念写真

◇ ふくしま子ども宣言」作文コンクール

1月6日（水）福島市「杉妻会館」
優秀賞 6年 吉田 美桜 「本の力」

※受賞作品は、福島県教育委員会ホームページに掲載されています。

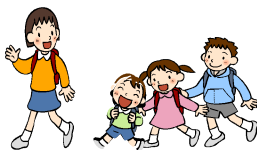


福島民報2016. 1. 7

◇ お願いです！

冬の時期、凍結や積雪などが心配されることから、登下校や放課後・休日の過ごし方について、次のような指導をしていますので、今後とも子どもたちの見守りやご指導をよろしくお願いいたします。

- 交通事故防止：飛び出しはしない。道路では遊ばない。積雪や凍結時は自転車に乗らない。
- 冬場の事故防止：川や池で氷すべりをしない。電柱や電線の近くでたこ揚げをしない。火遊びやたき火はしない。屋根からの降雪にも気をつける。
- 誘拐やわいせつ被害等の事故防止：
知らない人についていけない
・車に乗らない。危険を感じたら大声で助けを呼ぶ・近くの家や商店へ避難する。



◎ 降雪(積雪)時には、子どもたちの通学路確保のため、可能な範囲で除雪等にご協力いただきますようお願いいたします。

「冬道の安全な運転について」

（教職員研修）

冬休み前、田村警察署都路駐在所主任 大河内光浩様をお招きして、「国道288号線の潜在危険箇所の確認」や「雪道や凍結時の運転操作」などについて映像を用いながら具体的にご指導いただきました。運転姿勢の大切さやABSの効果的な使用などについてもお話しいただき、大変勉強になりました。

子どもたちへの教育活動をしっかりと行うためにも、教職員の事故防止に万全を期して参ります。



